



財務会計

【第2回】会計の目的

経済学部 山根陽一

1

- 前回は、簿記とは何か、会計とは何か、会計学とは何かについて、皆さんに考えてもらい、その後、私がお話ししました。
- 簿記とは、取引を記録する記帳技術であり、
- 会計とは、金銭や物品の管理とそれを報告することであり、
- 会計学とは、会計行為の法則、性格、構造を解明する学問でした。

前回の話

2

- 今回は、会計を行う目的、なぜ会計が必要なのかを考えていきたいと思います。
- 次の質問について、隣の人と話し合いながら考えてみてください。
- Q4: 会計はなぜ必要なのか？ (5分)
- 少し前回の内容を振り返ります。

会計の必要性

3

- 古代における会計
 - 徴税の記録、物品の管理、商取引の記録のため

<http://www.minac.net/accouting101/vol2.php>

(みんなのアカウントイング)

- 中世における会計
 - 利益の分配計算のため

<http://www.minac.net/accouting101/vol3.php>

(みんなのアカウントイング)

※会計史

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%9A%E8%A8%88%E5%8F%B2>

(Wikipedia)

会計の必要性

4

- 近代における会計
 - 株式会社制度における報告のため

<http://www.minac.net/accouting101/vol4.php>

<http://www.minac.net/accouting101/vol5.php>

(Wikipedia)

- 現代における会計
 - 証券市場における情報提供のため

<http://www.matsukk.jp/kinou01/>

(会計システム基礎サイト)

会計の必要性

5

- ところで、前回、会計学とは「会計行為の法則、性格、構造を首尾一貫した理論として解明する学問」だとお話しました。
- ということは、会計学では会計の目的について、学問しているのか、理論があるか、ということになります。
- 会計の目的について考えることを会計目的論と呼ぶ...かな？

会計学上の会計目的

6

- 会計学上の話は、少し横に置いておいて、
物事において目的というのは非常に重要です。
- なぜなら、目的によって行為(手段や内容)が変わります。
- 例えば、「働く」という行為の目的にもいろいろあります。
- 金持ちになるために働く。
- 社会に貢献するために働く。
- 家族を養うために働く。
- 自己実現のために働く。

目的とは

7

- 身近な例では、「大学に入学する」という行為。
- 経済学を学ぶために大学に入学した。
- 医者になるために大学に入学した。
- 資格を取るために大学に入学した。
- 教員になるために大学入学した。
- 目的が異なれば、行為は自ずと変わる...
- (行為は目的に依存する)
- 会計でいうと誰にどんな用途で会計報告するか。

目的とは

- 経営者が株主に結果を報告するためなのか
- 国に収める税金を計算するためなのか
- 銀行に自社の状況(財務健全性)を示すためなのか
- 投資家に企業価値(発展性)を示すためなのか
- 従業員に自社の状況を知らせるためなのか

目的とは

9

- では、話を会計学に戻します。
- 理論として首尾一貫した会計に関する目的とはどのようなものでしょうか。
- それ以前に、そもそも理論って何ですか？
- 数学や物理学などの自然科学における理論(法則)は、どんな状況においても成り立つ、唯一の絶対的な真理です。

理論とは

10

- しかし、社会科学では、対象が「社会」であるため、その前提はとても流動的です。
- 先ほど、歴史に沿って、会計の必要性が変わっていたのを思い出してください。
- 社会背景が変われば、結論(理論や法則)が変わるのが社会科学なのです。
- つまり、社会科学においては、ある社会背景(前提)において、どのような真理(理論)が成り立つかを考えることになります。

理論とは

11

- 話はやや複雑になってきました。
- では、この現代における会計の目的、そしてその真理とは...

理論とは

12

- と、その前に単に「会計」と言っても、その種類は対象（機関や制度）とするものによって、いろいろな種類があります。
- 会計の領域



会計の領域

13

- ちなみに、会計系の大学の授業科目でいうと、このような科目があります。

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| • 簿記論 | 企業結合会計論 | 公会計論 |
| • 財務会計論 | 連結会計論 | 環境会計論 |
| • 管理会計論 | 業績評価会計論 | 国際会計論 |
| • 原価計算論 | 予算管理論 | 会計史 |
| • 税務会計論 | 戦略会計論 | 経営分析論 |
| • 会計監査論 | 会計情報システム論 | 企業評価論 |

会計の領域

14

- この授業では、企業会計が対象です。
- といっても、企業会計と非営利会計は、会計としての共通点が多くあります。
 - 会計の記録を利用して金銭や物品の管理を行う
 - 会計記録を資産を保全するのに役立てる
 - 状況を資金提供者に報告するのに利用する

会計の領域

15

- 企業会計の特徴(非営利との違い)は、これに尽きます。
- 企業の目的は、利益獲得にある。
- 企業会計の目的は、営利活動の結果としての利益状態を明らかにすることにある。
- 企業会計には、大きく2つの領域があります。

企業会計

管理会計

財務会計

会計の領域

16

- まず、「管理会計」ですが、
 - 企業内部の各階層の経営管理者のために、企業の経済活動を測定し伝達する会計(内部報告会計)です。
 - 企業の特長や経営戦略によって多様であり、経営者自らが必要に応じて決定します。

会計の領域

17

- 製造部門管理者
 - 原価削減のためのコスト内訳や操業度の情報(記録)
- 販売部門管理者
 - 売価の設定等のための原価や販売費の情報(記録)
- 財務管理者
 - 資金調達の有無や余剰資金の運用のための資金収支の情報(記録)

会計の領域

18

- 次に、「財務会計」ですが、
 - 企業外部の利害関係者を会計報告書の受け手として行う会計(外部報告会計)です。
- 「管理会計」と「財務会計」の違いは、対象が企業内部か企業外部かです。

会計の領域

19

- 出資者
 - 資金提供者として企業の収益力
- 債権者
 - 債権の元本と利子についての企業の支払能力
- 従業員
 - 給与や労働条件に関して企業の収益力や生産性
 - 賞与や退職金についての企業の支払能力
- 取引先(仕入先・顧客等)
 - 代金回収の企業の支払能力や取引価格等にかかる企業の収益力
- 政府機関
 - 税金の徴収、補助金の交付、行政指導のための企業の財務内容

会計の領域

20

- 企業会計

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%81%E6%A5%AD%E4%BC%9A%E8%A8%88>

- 財務会計

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B2%A1%E5%8B%99%E4%BC%9A%E8%A8%88>

- 管理会計

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AE%A1%E7%90%86%E4%BC%9A%E8%A8%88>

Wikipedia

21

- 会計の必要性(目的)、理論とは何か、という話から、なぜか会計の分類の話になっていました。
- というのは、何かを定義付ける場合、対象を正確に捉えて分析するには、必ず限定が必要だからです。
- 会計のなかでも営利組織を対象にした企業会計のなかの外部報告を対象とした財務会計における会計目的と限定することで、ようやく議論できることになります。

なぜ、分類するのか

22

- では、本題の財務会計における会計目的について考えてみましょう。
- 企業は、誰に対して、どのような報告をする必要があるのでしょうか。
- それでは、最後に少し考えてもらおうと思います。

財務会計の目的

23

- 次の質問について、隣の人と話し合いながら考えてみてください。(残り時間)
- Q5: 様々な利害関係者がいるなかで、企業にとって誰に対する報告が重要でしょうか？
- Q6: 上記で挙げた企業外部者にどのような報告が必要でしょうか？

財務会計の目的

24

- BARレモン・ハート 会計と監査

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/52682192.html>

- BARレモン・ハート 会計と監査 PART2

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/52668964.html>

- 会計探偵クラブ

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/52542732.html>

- 会計リテラシーが仕事も人生も変える！

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/53074803.html>

本の紹介

25

- 会計学はどこで道を間違えたのか

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/53067038.html>

- 会計理論のアポリア

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/53070395.html>

- 私の知る会計学者群像

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/17363727.html>

本の紹介

26